

## 令和4年度全国地域リーダー養成塾修了者研修会 開催案内

1 目 的 修了者対象の事後研修を実施することにより、自己啓発や情報交換を図り、地域リーダーとしての資質向上を支援する。

2 日 時 令和4年9月1日（木） 13：30～13：50 受付  
14：00～17：30 分科会  
17：30～19：30 交流会（予定）  
令和4年9月2日（金） 9：30～11：30 特別講義

※交流会については、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し開催の可否を決定します。

3 場 所 アルカディア市ヶ谷（私学会館）  
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25  
TEL（03）3261-9921

4 対 象 リーダー塾修了生、第34期塾生

### 5 分科会

（1）分科会数 7分科会

（2）人 数 各分科会10～20名程度  
※希望者が多い場合は調整いたします。  
※オンライン参加可。

（3）テーマ及び講師 別紙のとおり

### 6 特別講義

（1）講師 有限会社オズ代表取締役  
海の幸とやすらぎの宿「海月」女将／  
鳥羽市エコツーリズム推進協議会会長  
江崎 貴久 氏



## (2) プロフィール

江崎 貴久 (えざき きく) 氏

京都外国語大学卒、三重大学生物資源学研究科修士課程修了、現在博士後期課程在籍。

株式会社 エトワール海渡を経て、1997年、家業である旅館海月の経営を行う有限会社菊乃を設立。

2001年、観光事業拡大のため、有限会社オズを設立し、離島をフィールドに自然や生活文化を通して環境と観光、教育と環境を一体化させたエコツアー「海島遊民くらぶ」を展開。エコツーリズムによる漁業と観光の連携を手法とした製品のブランド化にも着手し、「伊勢マグロ」のプロモーションや「答志島トロさわら」ブランド化委員長も務める。

現在、一次産業と観光の連携をテーマに、観光や環境に関わる行政委員や、地元の伊勢志摩国立公園や鳥羽市のエコツーリズム推進協議会会長、観光協会常任理事を務め、次世代のリーダー・人材育成・地域全体での資源活用のあり方を研究しながら実践するとともに、全国各地のほか、パラオ地域密着型エコツーリズム専門家委員会委員長(笹川平和財団 2018~9年度「パラオ型持続可能な観光の促進事業」)やIATSSフォーラム((公財)国際交通安全学会)等を通して、国内外の地域の活性化に取り組んでいる。

(3) テーマ 「住民参加の観光振興ー誰にも優しい成幸エコツーリズムー」

- 7 申込方法 参加申込書に必要事項を記入し、メール・FAX・郵送等で事務局へ提出してください。
- 8 宿 泊 宿泊施設は各自で手配をお願いいたします。

別紙 分科会のテーマ及び講師

分科会	テ ー マ 及 び 講 師	
<p>第1 分科会</p>	<p>テーマ 講師  パネリスト メッセージ</p>	<p>経済の地域循環をめぐって～岐阜県飛騨市のこころみ～ 西村 幸夫（塾長、國學院大學観光まちづくり学部長・教授、 東京大学名誉教授） 畑上あづさ（飛騨市商工観光部長） 元気な地域づくりのためには、域内での経済循環が不可欠です。そのために どのような仕組みを作るのか、現行の仕組みをうまく活用していかにかに地域の実 情にあわせて活かしていくのか、の知恵が求められています。 今年の修了者研修会では、デジタル地域通貨「さるぼぼコイン」の導入や企 業版ふるさと納税制度の積極的な活用など先進的な試みが続けている岐阜県飛 騨市の事例に学び、さらに、それぞれの地域での工夫をお互いに交換し合う場 にしたいと思います。</p>
<p>第2 分科会</p>	<p>テーマ 講師  パネリスト メッセージ</p>	<p>文化資源を活かし、宿場町で仕事をつくる（仮） 後藤 春彦（旧主任講師、早稲田大学常任理事・教授） 時岡 壮太（株式会社デキタ 代表取締役） 2007年度から18年度まで、主任講師を務めさせていただきました。修了者の 皆様、たいへんご無沙汰しています。また、リーダー塾の現役の皆さんの様子 はFacebookで拝見しています。 今年は、『文化資源を活かし、宿場町で仕事をつくる』をテーマに、福井県 若狭町の重伝建地区「熊川宿」において、古民家を活用したシェアオフィスや 宿泊施設、店舗等の運営を手掛ける時岡壮太さんをお招きし、地方で新たに「仕 仕事をつくる」ということについて議論してみたいと思います。</p>
<p>第3 分科会</p>	<p>テーマ 講師  パネリスト メッセージ</p>	<p>大学と自治体の連携 田村 秀（主任講師、長野県立大学教授） 中村 行博（木津川市観光商工課ビジネス推進係係長） すでに全国各地で大学と自治体が地域活性化に向けた取組みを数多く実践し ています。包括連携協定を結び、様々な成果を挙げているところもあれば、双 方の思惑が食い違ったり、教員の異動などによって活動が停滞するケースもみ られます。 分科会では木津川市で大学との連携事業に関わってきた職員（前地域活性化 センター）と新潟大学、長野県立大学で地域との連携を実践してきた講師が、 大学と自治体の連携をどのようにして実りあるものとしていくべきか考えてい きます。</p>
<p>第4 分科会</p>	<p>テーマ 講師  パネリスト メッセージ</p>	<p>スマートシティ政策の最前線 ～官民連携による実践まちづくり～ 辻 琢也（旧主任講師、一橋大学教授） 南方 尚喜（LINE Fukuoka 株式会社 DX・Smart Cityセンター センター長） LINE Fukuoka の南方尚喜 DX・Smart City センター長にご登壇いただき、福 岡市など全国 70 以上の自治体や交通インフラ系の地場企業等とすすめてきた 事例をご報告いただきます。 さらに、ご参加のみさんにも、それぞれの DX 最前線をご紹介いただき、あわ せてスマートシティ政策の今後のあり方を展望します。</p>

分科会	テ ー マ 及 び 講 師	
第5分科会	テーマ 講師 パネリスト メッセージ	地方創生と事業承継 米田 誠司 (主任講師、國學院大學教授) 木藤 亮太 (株式会社ホーホウ代表取締役／株式会社油津応援団取締役) 今回のテーマは「地方創生と事業承継」です。疲弊したと言われて久しい地方都市ですが、地方にはまだまだ魅力と資源が眠っています。宮崎県日南市で油津商店街を再生した木藤亮太さんを迎えて、さまざまな動きと可能性について一緒に考えていきましょう。中でも代々地域で営まれてきた事業の承継はいま大事なテーマです。
第6分科会	テーマ 講師 パネリスト メッセージ	公民連携を最前線で地域実装する 野原 卓 (主任講師、横浜国立大学大学院准教授) 今井 裕久 (株式会社プラスニューオフィス／一般社団法人 伊豆長岡温泉エリアマネジメント理事／法政大学 兼任講師) 持続的なまちづくりを進めるためには、「公民連携」が不可欠となってきましたが、いざ連携しようとしても、どうしていいかわからないことも多いと思います。しかもコロナ禍で、事業や活動を実践するのが難しい中、具体的にどうすれば、公民連携で活動を地域実装することができるのか、驚くほどのスピードで地域実装が進む、(一社)伊豆長岡温泉エリアマネジメントの事例(今井裕久氏)のお話を基に一緒に考えたいと思います。
第7分科会	テーマ 講師 パネリスト メッセージ	むらの自治力を未来につなぐ地域経営－宮城丸森・ひっぽの挑戦 関司 直也 (主任講師、法政大学教授) 吉澤 武志 (一般社団法人筆甫地区振興連絡協議会事務局長) 修了生の皆さん、ご無沙汰しております。今年度は、宮城県丸森町の筆甫地区の現場から、困りごと解決でむらの自治力を培い、様々な挑戦を続けている筆甫地区振興連絡協議会・事務局長の吉澤武志さんをお迎えします。 関司と同世代の吉澤さんのお話から、地域住民だけでなくそこに寄り合う様々な人たちとともに築く、未来につなぐ地域経営のあり方を議論します。